

展示解説シート



32 **長谷寺のだだおし**(奈良)

日本の鬼まつり

「鬼の原像を探る」のコーナーでご覧いただいた ように、私たちの持っている「鬼像」は、実に様々 なものから作られています。

そして、私たちが「鬼」の姿を多く目にするのが 「まつり」です。

「まつり」には、たくさんの「鬼」が登場します。 それは、年中行事のような家々でおこなわれる小さな まつりや、全国から見物客が来るような大きなまつり までさまざまですが、いずれのまつりを見ても、鬼が、 重要な役割を果たしていることに気がつきます。

例えば「節分」。毎年テレビでは有名力士たちが 豆まきをする様子が映しだされます。お寺や神社で おこなわれる節分行事は、「節分会」とか「追儺式」 と呼ばれるもので、豆まきで鬼を退散させることが

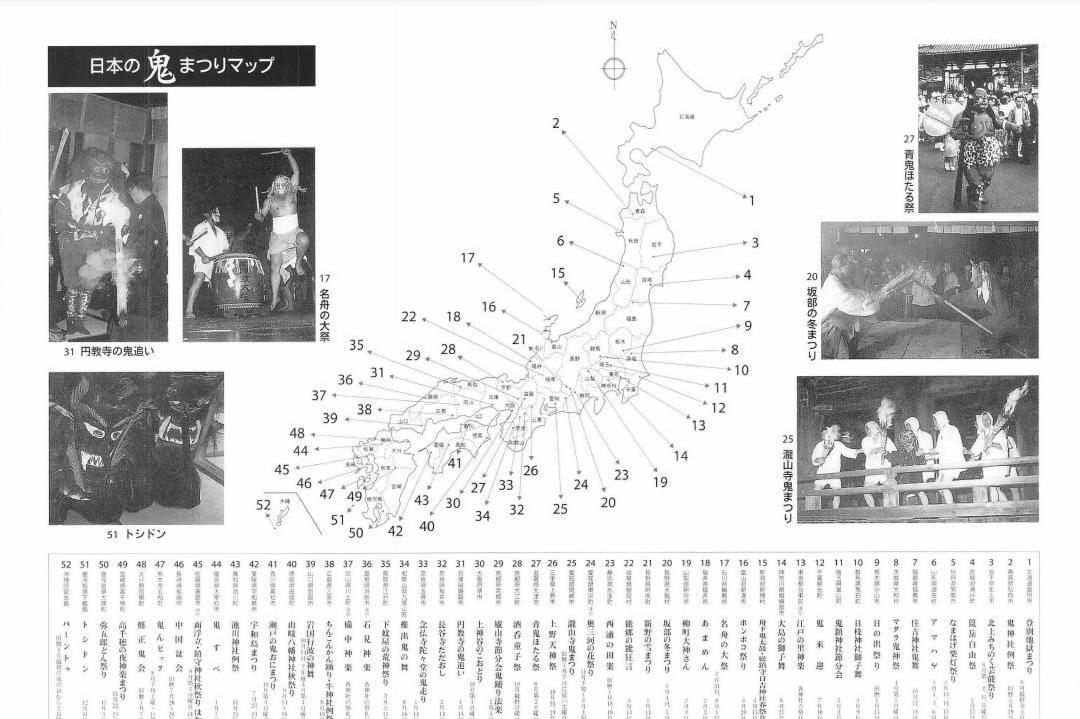
主になっているものや、目に見えない「鬼」を同じような姿をした「強い力の持ち主、すなわち鬼」が追い払うもの、また、鬼のお面をつけた「鬼役」が、松明をふりまわして悪いものを追いはらう形のものなど様々です。

ここでは、鬼は、「追いはらわれるもの」、であるとともに「追いはらう強い力の 持ち主」としても登場します。

仏教劇の中に出てくる鬼は、地獄の鬼です。死者に苦しみを与えることが努めですが、千葉県光町の鬼来迎の鬼に抱かれた子は、病気の虫が切れるといわれています。

東北の鬼の代表「ナマハゲ」は、見るからに恐ろしげな風貌とうなり声に加えて 包丁まで持っています。これでは、小さな子供など泣き出してしまいますね。

この「鬼」は、実は日本の山深くにいる祖霊の姿だといわれています。年に一度春を携えて里に降りてくるのです。このような「鬼」は、東北の太平洋岸から日本海沿岸に現れ、沖縄にまで同じように人々に歓迎されています。 $(\rightarrow 4$ ページにつづきます。)



また、まつりで奉納される神楽などの芸能にも「鬼」がしばしば登場します。中には鬼が演者の主になるものまであります。

出雲地方に伝わる神楽に登場する「荒平」などと呼ばれる鬼は、この地方の人々の持つ鬼像に大きな影響をもっているといわれます。

鬼の館のあるこの北上市和賀町岩崎は念仏踊りの一つ「鬼剣舞」の発祥の地です。 この鬼は「角」がなく、ゆっくりと大地を踏みしめる「ヘンバイ」のしぐさで悪気 を鎮めます。愛知県奥三河地方の花祭りの鬼にもそのしぐさを見ることができます。

鹿児島県の弥五郎どんは、隼人族の首長ともいわれる人物をかたどった大人形です。まつりは、この大人弥五郎の魂を鎮めるまつりともいわれています。

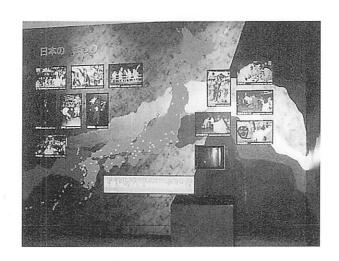
また、温泉地などで、湯や煙が吹き出しているところを「地獄」といいますが、ここに着目して鬼を登場させたまつりや鬼伝説にちなんだ新しいまつりも全国的に盛んに行われるようになっています。

鬼は、その並外れた力ゆえに恐れられ、遠ざけられました。しかし逆に、その力でわるいものを跳ね返すという面を持っているように思われます。

日本全国にある鬼のまつり。あなたのまちにも、その風 土に合った「鬼像」を盛り込んだ祭りがあると思います。 あなたのまちの鬼は、どんな鬼ですか?



19 柳町大神さん(山梨)



北上市立 鬼の館 展示解説シート ― 日本の鬼まつり ―

鬼の館

〒024-0321 岩手県北上市和賀町岩崎16地割131番地 TEL 0197-73-8488 FAX 0197-73-8508 メールアドレス oniyakata@city. kitakami. iwate. jp

2009.3 K